

地域のつながりを大切に



区や自治会を知っていますか

近年は、少子高齢化やライフスタイルの多様化などが進み、地域のつながりが弱くなってきているといわれています。しかし、災害時などのいざという時に頼りになるのは、住民同士のつながりです。区や自治会は、安全で安心に暮らせるまちづくりを目指し、地域に住む人たちが力を合わせて活動する団体で、福祉や防犯といった生活に関わる幅広い分野で重要な役割を担っています。

例えば、自主防災組織を結成し、定期的な防災訓練や防災用品の備蓄を行うことで、自助や共助による地域防災力の向上を図っている自治会があります。

そのほかにも、区や自治会では次のような活動を行っています。

- ごみ集積所の設置・維持管理
- 清掃活動やリサイクル活動
- 防犯パトロール活動
- 高齢者や子どもの見守り活動

区や自治会の活動を活性化するために

- 祭りやお楽しみ会などの地域のイベントの開催
- 地域のお知らせや行政情報の回覧

加入・設立するには

区長会では、地域活動の活性化につなげるため、区や自治会の代表者を対象にした研修会を年2回開催しています。

令和5年度は、防災や地域福祉に関する事例紹介や意見交換会のほか、LINEの使い方やオンライン会議の方法を学ぶデジタル講座を実施しました。

役員の負担を軽減し、継続して活動できるよう、運営に役立つ研修会を今後も開催していきます。

皆さんも区や自治会に加入して、困った時にお互いが助け合える、地域のつながりを築いていきませんか。活動内容をくわしく知りたい場合や加入を希望する場合は、

回覧板を配布しています

市では、行政情報の伝達を目的に、行政回覧を実施しています。希望する区や自治会には、回覧時に活用できる「回覧板」を市民協働課(市役所2階)または下総・大栄支所で配布しています。

住んでいる地域の区や自治会に相談してください。

自分が住んでいる地域の区や自治会、その連絡先が分からない場合は、市民協働課(市役所2階 ☎20・1507)で確認できます。

住んでいる地域に区や自治会がなく、新しく設立したい場合は、設立手順などの参考になるパンフレットを配布していますので、市民協働課に相談してください。

※くわしくは回覧へ。

定期的な防災訓練やごみ集積所の管理などを通して、住民自らが中心となって、住みやすい地域づくりをしているのが区や自治会です。ここでは区や自治会が行っている活動内容などを紹介します。